（様式3-2）

**自己評価表（タスクトレーニング）**

**氏名**

以下の各項目に対し、0～5点で評価してください。「工夫した点・改善が必要な点」あれば、右欄に記載してください。（なければ空欄で構いません）記載に当たっては倫理的配慮を行い、個人が特定されないようにお願いします。

**【採点基準】**

**５：とてもよい　４：よい　３：可　２：少し不十分　1：努力を要する　　０：全くできていない**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 点数 | 工夫した点・改善が必要な点 |
| **【シナリオデザイン】** | | | |
| １ | 目標は具体的で測定可能であった。 |  |  |
| ２ | 目標は、達成可能で現実的であった。 |  |
| ３ | 目標は、時間内で達成できるものであった。 |  |
| ４ | 選択したモダリティー（シミュレータ・模擬患者・VR・ハイブリットなど）は適切であった。 |  |
| ５ | 物品は、適切で学習者個々が練習するために充分な量であった。 |  |
| ６ | 学生個々が反復練習・ピア評価・指導が受けられる設定であった。 |  |
| ７ | 学習者の能力向上に役立つ準備教材や資料を提供した |  |
| 小計 | | /35 |
| **【プレ・ブリーフィング】** | | | |
| 8 | トレーニングの進め方を説明し学習者に確認した。 |  |  |
| ９ | 学習者が獲得すべき手技を明確に、学習者に提示していた。 |  |
| 10 | トレーニングを実施する状況について、説明した。 |  |
| 11 | トレーニングの環境とモダリティー、使用するかもしれないすべての物品について説明した。 |  |
| 12 | 説明した内容を学習者に確認し、理解度を把握した |  |
| 小計 | | /25 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 点数 | 工夫した点・改善が必要な点 |
| **【シミュレーションセッション】** | | | |
| 13 | 学習者がタスクトレーニングに集中できるように関わっていた |  |  |
| 14 | 学習者のスキルのよい点を伝え、トレーニングへの動機づけができるような関わりができていた |  |
| 15 | トレーニングの時間は妥当であった |  |
| 16 | 各学習者が同じ条件で反復練習できるような支援ができていた |  |
| **【フィードバック】** | | | |
| 17 | 学習者同士で評価を行った |  |  |
| 18 | 評価表は、目標に照らして具体的でわかりやすいものだった。 |  |
| 19 | 教員・指導者のフィードバックは、学習者の学習意欲を高めるものであった。 |  |
| 20 | フィードバックの時間は適切であった |  |
| 小計 | | /40 |  |
| **合計** | | /100 |  |

※この書類は、認定・更新制度以外の目的では使用いたしません。（日本看護シミュレーションラーニング学会）

【参考】

採点の目安

* ５：とてもよい

とても優れていて、他の人からのお手本となる。他にはない、よい工夫ができている

* ４：よい

流れや内容がスムーズである。

* ３：可

流れや必要な項目はおさえてあるが、ぎこちない。

* ２：少し不十分

流れや必要な項目が不足しているが、シミュレーション教育が実践できている。アドバイスにより容易に改善の可能性あり。

* １：努力を要する

流れや必要な項目への理解が不足している。シミュレーション教育の実践に向けて、かなりのアドバイス、改善が必要である。

* ０：全くできていない

シミュレーション教育についての理解ができていない。初学者として再度、スタンダードから学習が必要。